Stremler Glass Hardware 電子ロック付 レバーハンドル V310 型 ガラス扉用 取付説明書

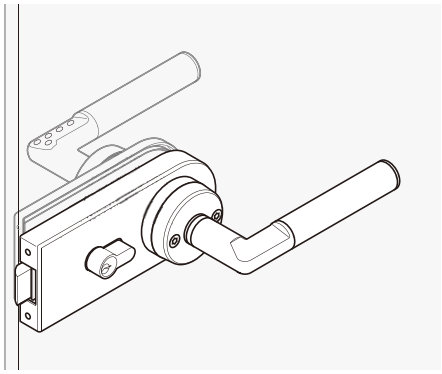
このたびは、電子ロック付レバーハンドル V310 型（以下、「本品」といいます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本品は、ガラス扉専用のレバーハンドルト、ラッチのセットです。
目的以外の用途には、用いないでください。
取付作業前に本書をよくお読みの上、正しく取り付けを行ってください。誤った取り付けは、思わぬけがをする恐れがありますので、本書の説明、注意事項をお守りください。
本品の取り付けが終わりましたら、本書をユーザー様にお渡しいただき、ユーザー様がいつでも取り出せるようにしてください。
本品は改良等により予告なく、寸法、仕様がかわることがあります。ご不明な点は、本紙裏面の記載のところに照会ください。

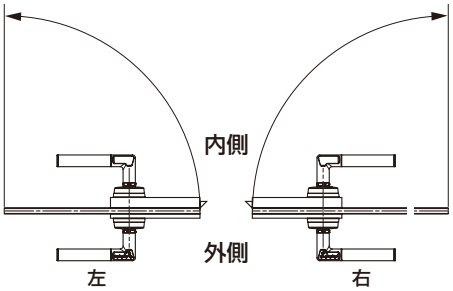
■安全にお使いいただくために

⚠記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。⃠記号はしてはいけない(禁止行為)であることを告げるものです。
❗記号は、必ず従っていただく内容(強制、指示)があることを告げるものです。

⚠警告　この注意事項を守らないと、思わぬケガ、周辺の家財に損害を与えることがあります。

⃠ 本製品は室内専用です。水のかかる場所には使用しないでください。
⃠ 屋外用には使用しないでください。室内間仕切り扉に使用してください。

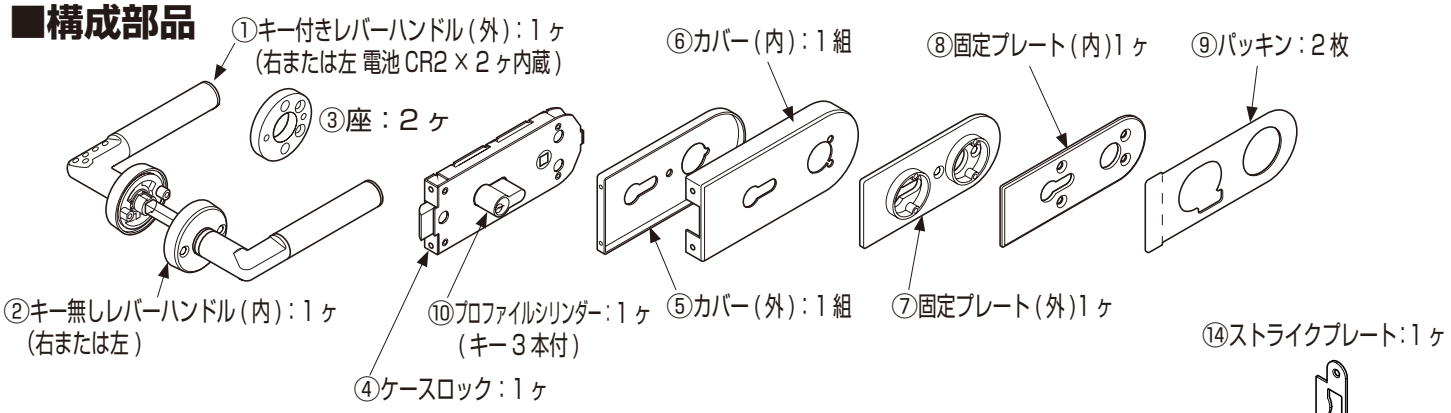




■仕　様

・製品の右用、左用は左下の図でご確認ください。レバーハンドルは右用、左用あります。
・施錠すると外側レバーハンドルだけが空回りし、ラッチは動きません。
・施錠していても内側レバーハンドルは空回りせず普通に開けられます。
・プロファイルシリンダーでキーを３６０度回して施錠するとラッチが通常より１段（８mm）出ます。
・プロファイルシリンダー施錠中、レバーハンドルは内外とも空回りします。
・プロファイルシリンダー解錠するとラッチ爪は元の位置にもどります。
・「シリンダー」キーをさらに解錠方向に回すと連動してラッチが引き込む。よってレバーハンドルが施錠していても、また内側レバーハンドルを回さなくてもキーを回すだけで開けられます。
・ケースロックは左右共用です。中身を左右反転し、対応します。
・外開き内開き共用。ラッチの爪を一旦外し反転して元通り付けることで可能です。
・適応ガラス厚　８～１２mm
・交換用電池　　リチウム電池　ＣＲ２：２個

■構成部品



⑪**固定ねじ A**: ヘクサロビュラ穴 (T25) 付き皿小ねじ M5 × 16：4 本
⑫**固定ねじ B**: 六角穴付き皿小ねじ M5 × 30：2 本
⑬**固定ねじ C**: 六角穴付き皿小ねじ M5 × 40：2 本

⑭ストライクプレート：1ヶ

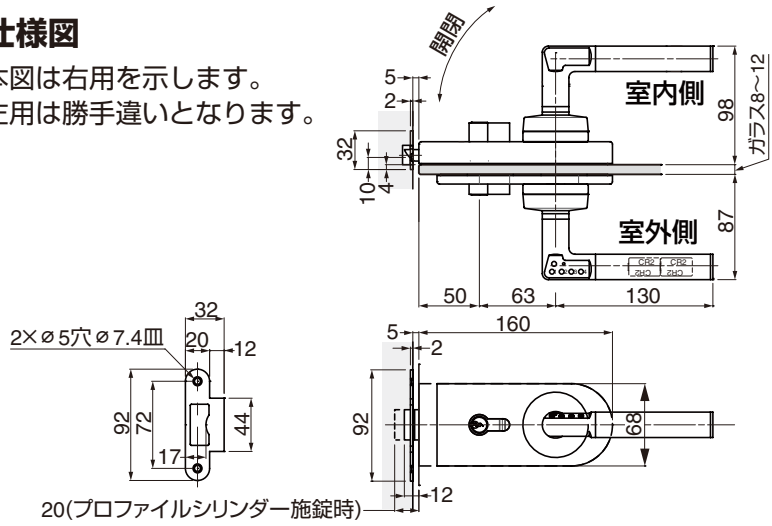
⑮電池室蓋専用工具：1ヶ

⑯両面テープ：4枚

SUGATSUNE

■仕様図

本図は右用を示します。
左用は勝手違いとなります。



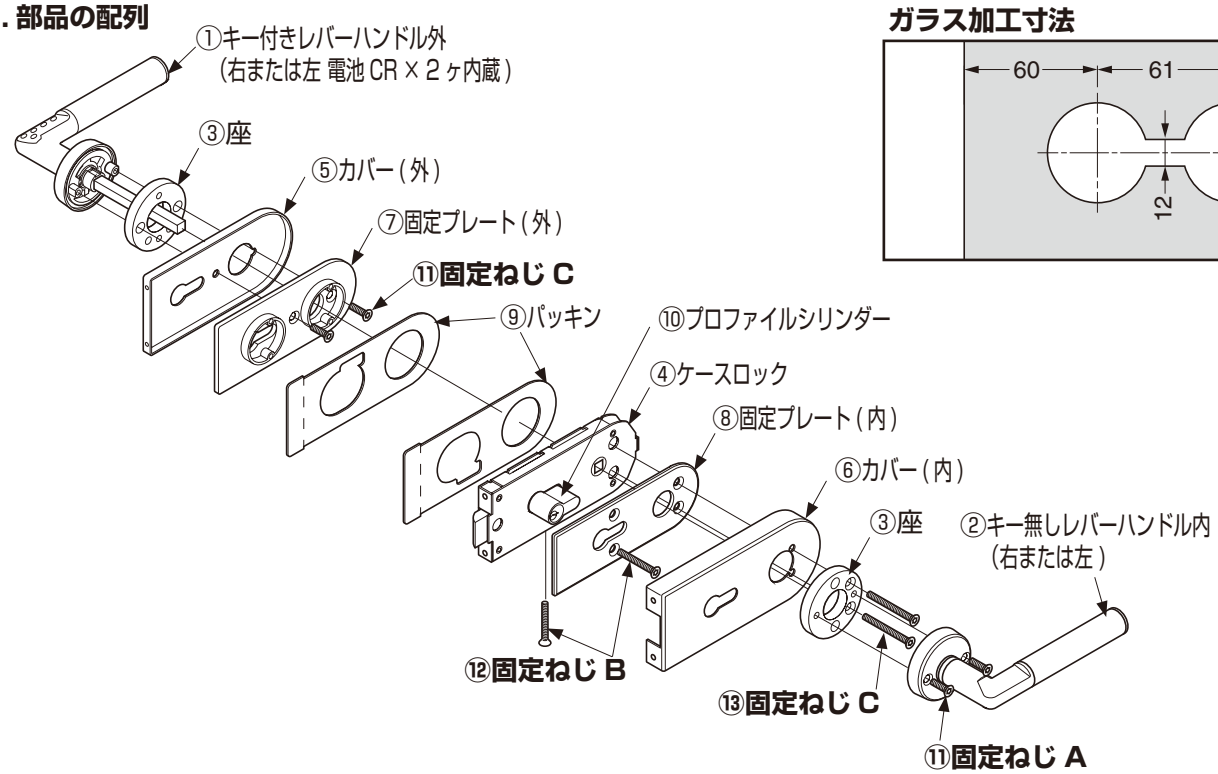
■組立に必要な工具

・ヘキサロビュラ (トルクス) ドライバー T25
・六角棒スパナ　2.5
・＋ドライバー
・電池室蓋専用工具　製品に付属⑮
　(組立後も大切に保管してください)

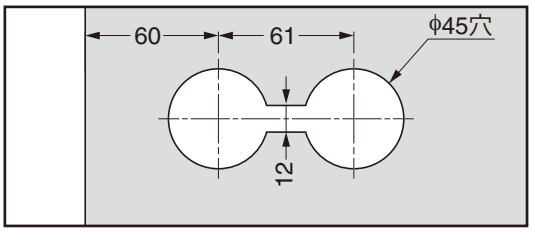
■取付手順

組立てる前にマスターコードを登録してください。(P.5 参照)

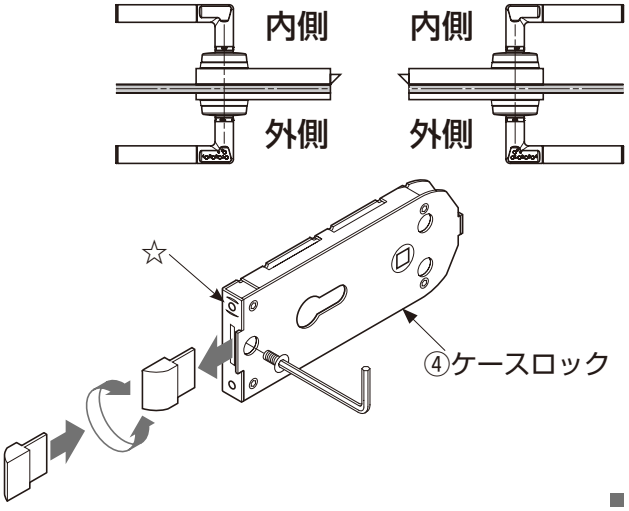
1. 部品の配列



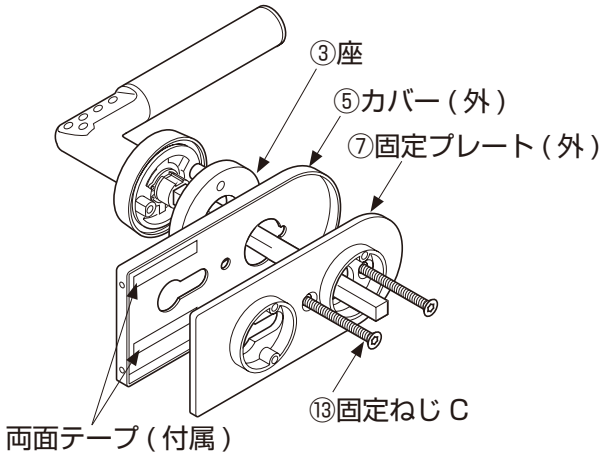
ガラス加工寸法



2. ケースロックの右勝手左勝手、爪の向きの確認を行います。
爪の向きが違う場合は、右の手順で向きを変えてください。

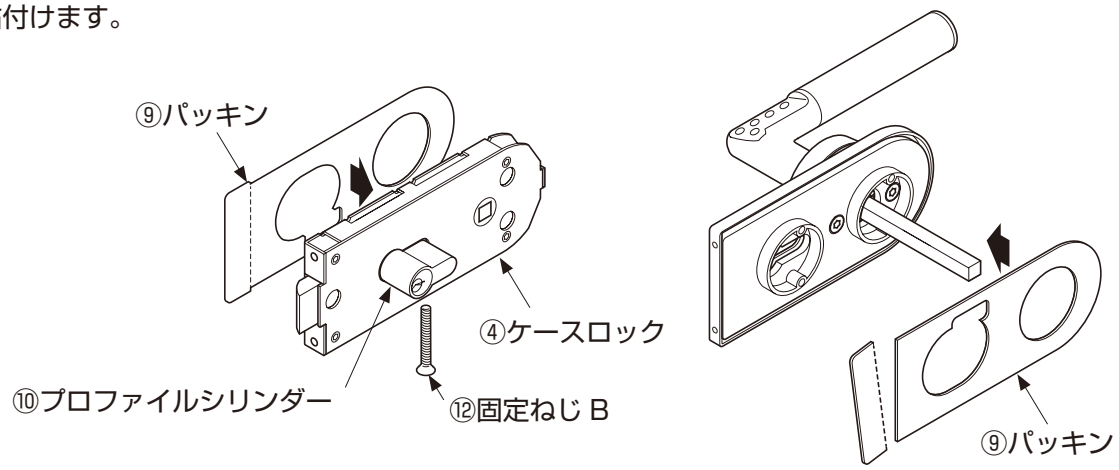


3. 外側のキー付きレバーハンドル (外) ①を組み立てます。
カバー (外) ⑤を固定プレート (外) ⑦に両面テープで⑯で貼付けます。



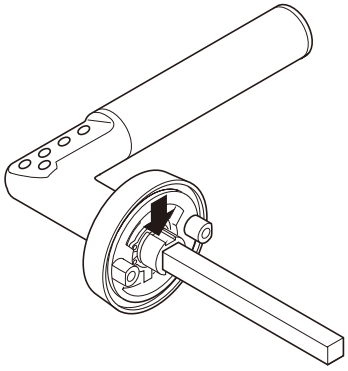
4. ケースロック④を組み立てます。

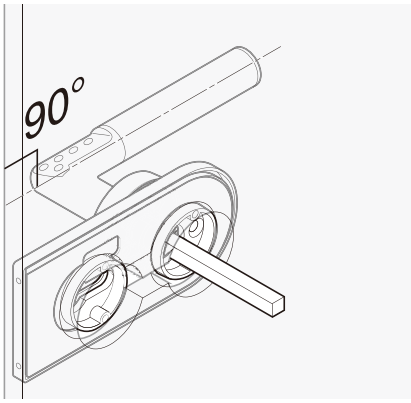
・パッキン⑨の保護シートをはがし、ケースロックに貼付けます。
・ケースロック④にプロファイルシリンダー⑩を固定ねじ B ⑫で固定します。
・固定プレート (外) ⑦に貼付けるパッキン⑨はミシン目で切り取り、貼付けます。



5. 手順 3 で組み立てたレバーハンドルとケースロック④をガラスに取り付けます。

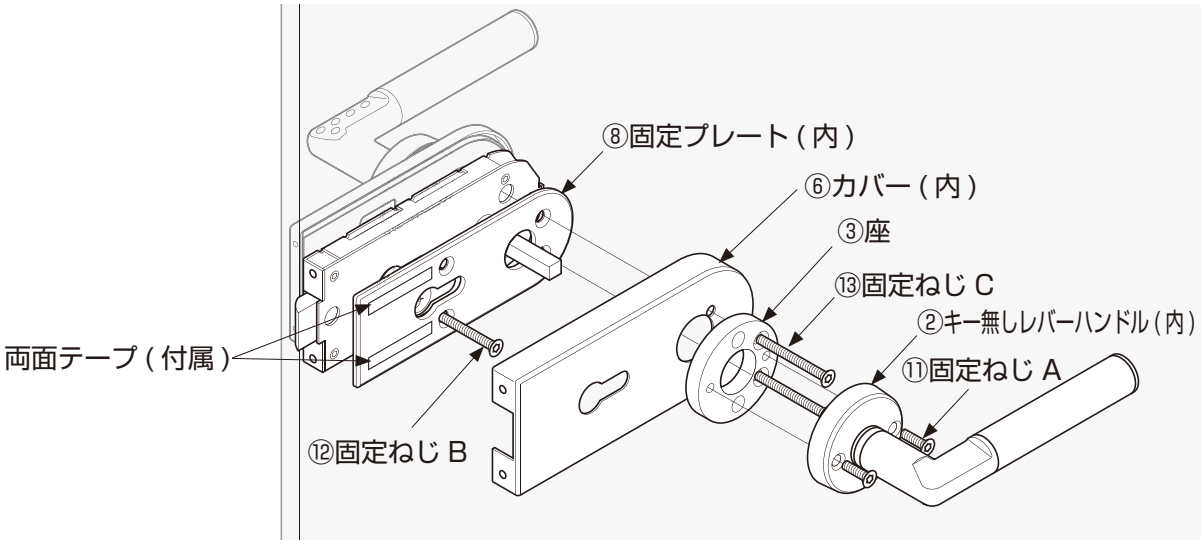
レバーハンドル角芯の根元の向きに注意してください。





6. 内側のレバーハンドルを組み立てます。

・固定プレート (内) ⑧を固定ねじ B ⑫で取り付けます。
・カバー (内) と座③を両面テープ⑯で貼付けた後、固定ねじ C ⑬で取り付けます。
・最後にキー無しレバーハンドル (内) を固定ねじ A ⑪で取り付けます。



1. 電　源

（1）電池について

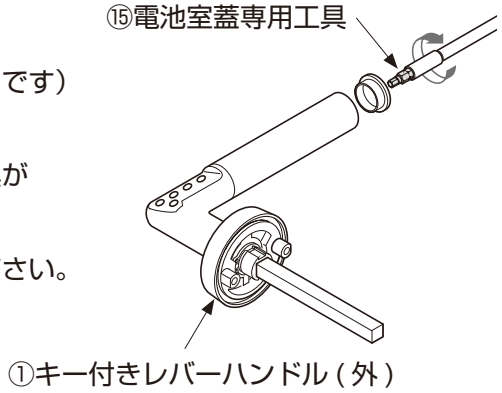
・電池はリチウム電池ＣＲ２×２個（出荷時に内蔵しているものはデモ用です）が内蔵されています。

・寿命は、新品の電池で通常の使用で約２年間です（使用状況により差異がでます）。

・ボタン操作時に赤点灯するときは電池の寿命です。早めに交換してください。

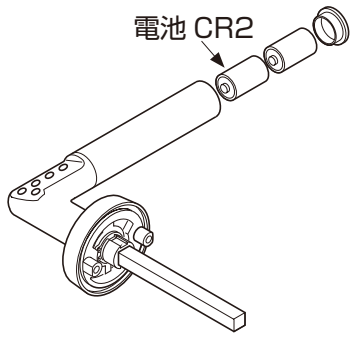
・電池が切れると、そのときの状態のままになります。
新たに電池が入ると、切れたときの状態から始まります。

・電池が切れても登録した内容は消えません。



（2）電池交換手順

①ハンドル尻のフタを、付属の電池室蓋専用工具⑮で回して外します。
②古い電池を抜き取ります。
③新しい電池に交換する場合、（+）側を先に入れてください。
④元通りふたをする。水浸み込みやいたずら防止のため、付属の電池室蓋専用工具⑮でしっかり締めてください。
※電池室蓋専用工具⑮は大切に保管してください。



2. セキュリティ

・誤ったユーザーコードが５回入力されるとガードかかり約３分間操作できなくなります。レバーハンドルの表示ボタンが赤ゆっくり点滅します。
ピッ……ピッ……ピッ……ピッ……(音の時だけ赤点灯)

・その間でも正しいコードを２回入力すれば操作できるようになります。

3. 登録

・コード登録や設定変更のための基本管理用としてマスターコード番号（６桁）と、施錠解錠の際に使用するユーザーコード番号（４～６桁で９通りまで可能）の２つを設定します。

・番号はキーボタンが「1」「2」「3」「4」の４つのみですので、この数字の羅列で作った４～６桁の番号で設定します。（例：１１１１や４３２１４３など）

・コード番号は製品から読み取ることはできません。忘れないよう別表に記録しておいてください。またコード番号は第三者に知られないよう厳重に管理してください。

・登録設定のキー操作はそれぞれ５秒以内に行なってください。消灯したら時限です。それぞれの手順の始めからやり直してください。

・登録、設定変更したら直ちにテスト操作して確認してください。

・登録設定したデータは電池が切れても消えません。

3－1．マスターコード

（1）マスターコードの登録

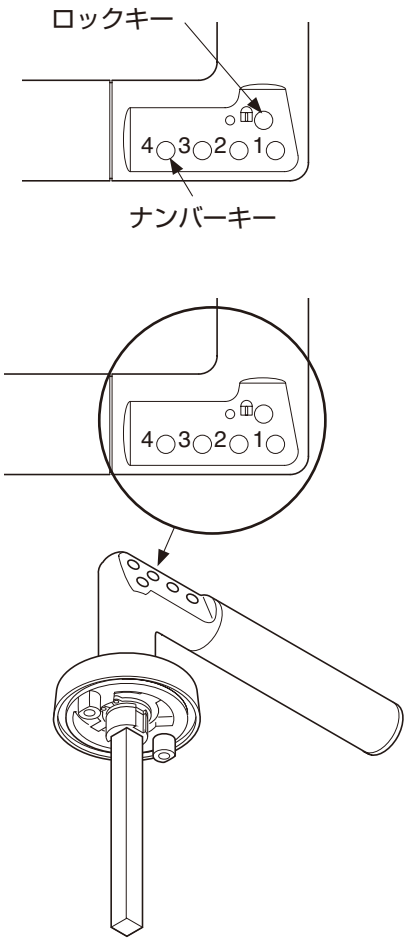
・マスターコード登録（変更）に限り、扉に付ける前に外側レバーハンドル単体で行ないます。扉に付いた状態ではできません。

・登録の前に予めマスターコード番号（6桁）を決めておきます。

①レバーハンドルを４５度以上立てます (図参照)。
(寝ている状態では反応しません)。

②「1」と「4」を同時に長押ししてください。
赤点滅したら離します。　緑が点灯します。

③６桁のマスターコードを入力。緑が点滅し消え、設定終了です。



（2）マスターコードの変更

・マスターコードを変更する場合も、レバーハンドルを扉から外し、登録と同じ手順で行ない上書きされます。

・マスターコードを変更すると、以前のマスターコードとユーザーコードの全てが消去され、設定は初期出荷状態になります。

3－2．ユーザーコード

（1）ユーザーコードの登録・変更

・ユーザーコードは９通り７まで登録できます。

・登録場所番号とそのユーザーコード番号（４～６桁）の２つを入力します。予め設定し別表 (P.7) に記録しておいてください。

・変更の場合も手順は同じです。登録場所に上書きされます。

①「ロック」長押し　赤点滅－消える－赤点灯したら離してください。

②赤点灯中５秒以内にマスターコード（６桁）入力－緑が点灯。

③緑点灯中５秒以内に登録場所番号入力－消える－緑点灯まで待ってください。登録場所番号は「１」を登録場所の番号数だけ繰り返し押します。（例：登録場所６の場合「１」を６回押す）

④緑点灯したらユーザーコード（４～６桁）入力－消える－緑が点滅－緑が点灯まで待ってください。

⑤緑点灯で登録できました。
引き続き別の登録場所ユーザーコードを登録するには緑が点灯中に③から繰り返してください。

⑥「ロック」押すかそのまま待ち緑が消灯し、終了です。

（2）ユーザーコードの消去

①「ロック」長押し　赤点滅－消える－赤点灯したら離してください。

②赤点灯中５秒以内に、マスターコード（６桁）入力－緑が点灯します。

③緑点灯中５秒以内に、消したいコードの登録場所番号入力－消える－緑点灯まで待ってください。

④緑点灯したら「ロック」押す。―赤点滅―緑が点灯します。
これでその登録場所のユーザーコードが消去されました。
引き続き別のユーザーコードを消去する場合は③～④繰り返す。

4．設定変更

（1）作動モード（出荷時手動モード）

施解錠動作を「自動モード」あるいは「手動モード」に変更できます。

自動モード:ユーザーコード合証させて解錠。約６秒後に自動的に施錠します。

手動モード：ユーザーコード合証させて解錠。「ロック」押して施錠します。

①「ロック」長押し　赤点滅－消える－赤点灯したら離します。
②赤点灯中５秒以内にマスターコード（６桁）入力－緑が点灯します。
③緑点灯中５秒以内に「３」を押します。
　現在のモードから別のモード（自動→手動、または手動→自動）に変わります。
④「ロック」押すかそのまま待ち、緑消灯で終了です。

（2）操作音（出荷時音出る）

操作音が出る－出ない　の変更ができます。
①「ロック」長押し　赤点滅－消える－赤点灯したら離します。
②赤点灯中５秒以内にマスターコード（６桁）入力－緑が点灯します。
③緑点灯中５秒以内に「２」を押します。
④「ロック」押すかそのまま待ち、緑が消灯で終了です。

5．全データの消去 (マスターコードの変更)

マスターコードを変更することで、それまでの全てのユーザーコードが消去され、
設定は出荷初期設定になります。
同じマスターコード番号を上書きした場合も全部消えます。
①新しいマスターコード番号（６桁）を決めておきます。
②レバーハンドルを扉から外し、４５度以上立てます (図参照)
③「１」と「４」同時に長押し。　赤点滅したら離します。　緑が点灯
④５秒以内に新しい６桁のマスターコードを入力、緑が点滅し、設定終了です。

6．解錠するとき

ユーザーコードを押し — 緑点滅 — 消える (合証)

暗証番号表

マスターコード (6 桁)	
登録場所	ユーザーコード (4 ～ 6 桁)
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

危機から暗証番号は解読できませんので、記録しておくことをお勧めします。
暗証番号は第三者に知られないよう注意し、管理してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

アーキテクトサポート室　電話番号 **03（3864）1122**
受付時間　**月～金　9:00～17:30**（年末・年始・夏季休暇等は除く）
FAX 03（3863）6875
E-mail：support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10　〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP印の機能&デザイン金物メーカー
ISO 9001（JSAQ384）・ISO14001（JSAE597）審査登録
※ISO9001:国内各拠点　※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/

2012.09　PRINTED IN JAPAN　0560-1